

令和2年第3回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和2年3月4日（水） 午後1時30分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1会議室

出席委員 教育長 本多 弘尚
委 員 小栗 仁志 田島 雅子 林 由美 三尾 和樹

事務職員 小関事務局長・小木曾教育次長（兼）学校教育課長・川合事務局次長（兼）教育企画課長（兼）施設計画推進室長・大巾文化スポーツ部長・小栗施設計画対策官・花田教育研修所長・河合幼児教育課長・西尾発達支援センターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・太田阿木高等学校事務長・池戸生涯学習スポーツ課長（兼）少年センター所長（兼）勤労青少年ホーム所長・原文化振興課長（兼）市史編さん室長・二村図書館長（兼）蛭川済美図書館長・青木中央公民館長・林鉦物博物館長（兼）東山魁夷心の旅路館長

会議日程

1	開	会
2	前回議事録の承認	
3	教育長報告	
4	議	事
5	閉	会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	報第1号	美術品等の購入に伴う答申について	承認
第2	議第8号	令和2年度県費負担教職員の任免等の内申について	承認
第3	議第9号	中津川市立幼稚園管理規則の一部改正について	承認
第4	議第10号	中津川市立小中学校管理規則の一部改正について	承認
第5	議第11号	中津川市立高等学校管理規則の一部改正について	承認
第6	議第12号	令和2年度中津川市教育委員会の方針と重点について	承認

■教育長 ただいまから、令和2年第3回中津川市教育委員会を開催いたします。

日程第2、前回議事録の承認につきましては、回議といたします。

続きまして、日程第3、教育長報告を行います。前回の教育委員会以降の出席行事等を中心に報告いたします。

2月26日は東濃信用金庫の奨学金の関係で評議員会に出席しました。27日は市議会の初日でした。同日、校長会に出席しました。3月1日は阿木高校卒業式に出席しました。全員マスクを着用して、在校生は出席しないため、送辞はビデオメッセージで流すといった開催でしたが、卒業生が先生方への感謝を涙ながらに伝えるなど、心温まる卒業式でした。

今後の予定です。9日、10日に市議会の一般質問があります。

以上です。

次に、事務局及び文化スポーツ部からそれぞれ報告します。

小関事務局長。

■事務局長 事務局長報告の前に、コロナウイルスの対応について報告します。委員の皆様方には、大変失礼でしたが、私から電話でご報告させていただきました。本日は、別紙の「各部からお知らせすること」という、お伝えしたことをとりまとめた表をお配りしています。番号の1から3までが、休校・休園に関する取り扱いです。それから、田瀬・下野小学校の統合、坂本こども園の開園に関しては、式典を予定していましたが、田瀬小学校の閉校式、坂本こども園の竣工式、坂本幼稚園・坂本保育園の閉園式、いずれも中止と決定していますので、よろしくお願ひします。

9から13は卒業式の関係です。中学校は繰り上げて行っています。小学校は3月25日に、日にちは変えないで行う予定ですが、卒業生と先生方だけで、保護者の方には入っていただかない形で今考えています。14、15が阿木高校の関係で、3月2日から休校です。修了式は3月26日の予定ですが、万が一、コロナウイルスで高校受験ができなかった生徒がいた場合、この日に追試験が行われますので、修了式は中止になります。

裏面の16は、発達支援センターつくしんぼの関係です。通常どおり保育を行いますが、感染の危険性の高い食事療育は中止します。

公立幼稚園の卒園式も中学校と同様、3月3日から休園になりますので、前倒しして行いました。保育園の卒園式は日にちを変えずにということで、小学校と同様に縮小して開催します。法人の保育園・幼稚園は通常どおり開園しており、保育が行なわれています。法人のこども園は、南さくら幼稚園の幼稚園コースだけ13日

まで休園で、それ以外は開園しています。小規模保育園は通常どおり開園しています。

現在、コロナウイルスの対策として、休園などが行なわれていますし、行事の中止等の決定をしています。

引き続き、前回以降の主な出席行事等について、報告します。

2月21日にとうしん地域振興協力基金受領式に出席しました。今年度は第二中学校の図書購入の一部として、15万円の助成金をいただきました。26日には新型コロナウイルス感染症警戒本部会議が、本庁で開かれましたので出席しました。27日は市議会3月定例会があり、3月補正予算を可決していただきました。

今後の予定です。3月9日、10日に市議会一般質問が行われます。教育委員会事務局には、4人の議員からの質問がありました。田口文数議員から幼児教育保育の無償化の影響について、牛田敬一議員からは道德教育について、黒田ところ議員からは学校での屋外型AEDの設置について、島崎保人議員から障がい児保育の現状と今後、教育現場での難聴・弱視の児童生徒への支援についての質問です。答弁を準備し、3月9日、10日に質問にお答えする予定です。

13日には市議会文教民生委員会が予定されており、家庭的保育事業等の連携施設の確保義務の緩和などを改正内容とした条例2件についてご審議いただきます。

18日は予算決算委員会があり、令和2年度当初予算が審議される予定です。23日は予算決算委員会の全体質疑があります。

以上です。

■教育長 大巾文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 文化スポーツ部に関わる主な行事や事業についてご説明します。

2月21日、中津川センターロータリークラブ創立45周年記念事業として、ラグビー元日本代表キャプテンの廣瀬俊朗氏の講演会が開催されました。2月22日、同じく中津川センターロータリーの記念事業として、桜の植樹が中津川運動公園で開催されました。同日、第50回中津川オープン林八郎杯卓球大会が開催されました。24日にはこの第50回の記念事業として、平野早矢香さんの卓球教室と講演会が開催されました。26日、社会教育委員の会（兼）公民館運営審議会から市長に、指定管理公民館である福岡・苗木・付知公民館の評価報告書が提出されました。同日、新型コロナウイルス感染症警戒本部会議が開催されました。27日、第1回中津川市議会定例会が開会されました。28日、新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催されました。同日、博物館協議会が開催されました。

今後の予定です。3月9日、国際交流事業検討委員会が開催されます。10日、

子ども金メダル表彰選定委員会が開催されます。23日、リレーマラソン大会実行委員会が開催されます。24日、図書館運営協議会が開催されます。25日、岐阜市でホストタウン連絡会議が開催されます。

新型コロナウイルスの感染拡大の抑制を図るため、イベント等を中止・延期した主なものです。東濃歌舞伎中津川保存会吉例歌舞伎大会、常盤座歌舞伎保存会定期公演、地歌舞伎勢揃い公演が延期、中央公民館まつり、苗木遠山史料館大名接待料理復元展、遠山家伝来資料調査委員会、ビーチボール大会等は中止としております。また、子ども金メダルの授与式は、10日の選定委員会で協議します。

以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 幼稚園の卒園式を縮小して開催されたということですが、親は入っていないですか。

■教育長 小関事務局長。

■事務局長 幼稚園児は一人では来られないので、親さんに入っていました。来賓はなしでした。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 2月26日の新型コロナウイルス警戒本部会議には、教育長は参加されてないのですか。

■教育長 私は28日の対策本部会議に出席しました。

■三尾委員 履修状況について、質問します。テレビ等でも1カ月間の授業日数・授業実数の欠損による授業の遅れのこと、あまり問題になっていない感じがします。学校が1カ月近く予期せぬ休みになることで、授業内容を子どもたちに教えることに遅れが出る心配はないのでしょうか。

■教育長 小木曾教育次長。

■教育次長 文科省からは、時数はもちろん内容についても、弾力的に扱うよう指示は来ています。しかしながら、中津川市としては、未履修状態で身につけていないまま、次の学年に送ることは非常に問題があると考えています。今、履修状況調査を各学校にかけて、複数クラスのあるところは一番進んでいないクラスを基準として未履修の状況を出してもらい、4月、そこから新学年をスタートさせます。複数の小学校から集まる中学校については、再度になる子どももいるかもしれませんが、履修してないところから中学校の1年生をスタートする態勢で臨む考えです。

■教育長 そのほかありますか。

小栗委員。

■小栗委員 まずは、お礼です。教育委員会から子どもたちに出してもらったものの中に「休校に入るに当たって」というのがあります。うちの家族でも、子どもが持って帰ってきて、大変いい文章を作ってくれた、どこが作ったのだろう、教育委員会の事務局が作ったのかな、という話をしました。お母さんたちの間では、長期の休みに入るに当たって、こういう文章を出してもらったのが大変ありがたかったという話があったと聞いています。ありがとうございました。

■教育長 ほかにご質問等ありますか。

ないようですので日程第4、議事に入ります。

議事日程第1 報第1号「美術品等の購入に伴う答申について」提案説明をお願いします。

原文化振興課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 中津川市美術品等評価委員会が評価した価格ということですね。この価格で購入するのでしょうか。どこかほかにも評価をしてもらうのですか。

■教育長 原文化振興課長。

■文化振興課長 このうち「風神雷神」以外の本画3点は、専門の鑑定機関による評価価格です。なお、「風神雷神」も正式な評価書を取って、最終的には予算内で購入する予定です。

■教育長 そのほかありますか。

三尾委員。

■三尾委員 「風神雷神図」についてです。そんなに大きい作品ではなく、白黒で薄く彩色してあるようです。それに比べて「御前」や「雛」は、縦が1mを超えるものもあります。価格をみると「風神雷神」よりも「御前」の方がかなり安いです。「風神雷神」は、小さい作品にもかかわらず、2点で300万円と高値がついていますが、なにか理由があるのでしょうか。

■教育長 原文化振興課長。

■文化振興課長 「風神雷神」は双幅で軸装です。大きさは「御前」よりは小さいのですが、画風や双幅という部分で評価が高くなっていると、評価委員会では何っ

ています。

■教育長 ほかにございますか。

田島委員。

■田島委員 先回、中津川市の美術館建設計画について、お答えをいただきました。一刻も早く実現するといいと思います。そのとき、林委員から小品がたくさんあるという話もありました。青邨美術館がないので、美術館の目玉になるような大きな青邨のものは、国立や足立や国立近代美術館に所蔵されているようです。そういった目玉になるものを買い求めるあてはあるのでしょうか。

■教育長 大巾文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 今、言われたような作品は、相場価格が非常に高価なこともあり、基金を運用しながら購入しています。購入だけではなく、借用して展示という方法も取れます。以前、国立美術館や県の美術館では、そういった方法で青邨の特別展等も開催しています。それも一つの方法だと思っています。また、民間の方が非常に高価な絵をご購入していますので、そういった方からお借りして、展示するのも一つの方法かと思っています。

市として現段階では、予算を決めながら購入していきたいと考えています。昨年、購入したものもありますので、そういったものを大切にしていきたいと考えています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 青邨記念館、または青邨美術館というようなものができると、いろいろなところから借り入れて、本物が観られることになりませんか。

■教育長 大巾文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 通常ですと、1つの美術館で最低でも70点ほどという線があります。それぐらいを目指して何とかしていきたいと考えています。

■教育長 ほかにありますか。

三尾委員。

■三尾委員 資料の「御前」の右側にある小さい作品は、すでに見たような気がしますが。

■教育長 原文化振興課長。

■文化振興課長 これは、市が中津高校のOBから購入して、所蔵している「袈裟御前」です。「御前」に似ているということで、参考までに掲載しています。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 傷みのある作品が多く、修復も必要だということが記載されていますが、これを購入した場合の修復費は大体どれぐらいかかるのか、見積もりはありま

すか。

■教育長 原文化振興課長。

■文化振興課長 令和2年度の予算に計上している修復費は55万円です。

■教育長 そのほかよろしいですか。

なければ、報第1号については、承認ということによろしいですか。

報第1号「美術品等の購入に伴う答申について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第8号「令和2年度県費負担教職員の任免等の内申について」ですが、県費負担教職員の任免に関わる人事案件ですので、中津川市教育委員会会議規則第17条により非公開としたいと思います。

非公開として、よろしいでしょうか。

[異議なし]

【 非 公 開 】

■教育長 続きまして、議第9号「中津川市立幼稚園管理規則の一部改正について」提案説明をお願いします。

河合幼児教育課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 坂本保育園は、取り壊しますか。

■教育長 河合幼児教育課長。

■幼児教育課長 現在、他の用途を決定していませんので、とりあえず建てたままの形にしておきます。

■教育長 ほかにご意見等ありますか。

ないようでしたら、議第9号については、承認ということによろしいでしょうか。

議第9号「中津川市立幼稚園管理規則の一部改正について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第10号「中津川市立小中学校管理規則の一部改正について」提案説明をお願いします。

小木曾教育次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

それでは、次の議第11号「中津川市立高等学校管理規則の一部改正について」も同じ内容ですので、一括して承認をいただきたいと思います。

議第10号及び議第11号については、承認ということによろしいでしょうか。

議第10号「中津川市立小中学校管理規則の一部改正について」及び議第11号「中津川市立高等学校管理規則の一部改正について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第12号「令和2年度中津川市教育委員会の方針と重点について」提案説明をお願いします。

花田教育研修所長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

三尾委員。

■三尾委員 学校教育をこうした紙の上に図式化するというのは非常に難しいのですが、これを見ると、複合的に入り組んでいる教育というものが、きれいに図式化されていると思いました。すっきりしていて、そのすっきりした見出しについて、後で具体的に細かく示されており、非常に読みやすいと感じました。

一つ気になるのは、15ページの図中の「子供」が漢字で書いてあることです。昨年までは「子ども」となっていました。確か数年前から文科省としては、漢字に統一したと思います。私の教員人生の中でも、ひらがなで書いてきました。一時期だけ、校長先生が非常にこだわってみえて、漢字があるのだから漢字にきなさいと言われ、漢字を使った覚えがあります。

興味があつたので調べてみました。中津川市も大昔は漢字でしたが「供」という字には差別的雰囲気が含まれているということで、今でいうと「障がい」の「がい」をひらがなで書くことと似ていると思います。「お供えもの」「お供をする」というようなときに使う「供」という字は、やはり上から下に見ているということで、全国的にひらがなにしました。

中津川市もずっとそれでやってきています。今日、示された資料を見ると「ども」が全部漢字に統一されていますが、教育大綱、よりよいひとりだち中津川ビジョン、昨年の方針と重点、子ども金メダル、子ども・子育て会議、ダイジェスト中津川の教育、学力アッププログラム、移動教育委員会など、どの資料を見ても、全部ひらがなです。漢字にするのは、いいと思いますが、中津川市内で両方の表記が入り乱れて、学校が混乱するようなら、この「子供」を「子ども」に変えた方がいいと思いました。

■教育長 花田教育研修所長。

■教育研修所長 正直に言うと、私も研修所に来るまでは、ずっとひらがなで書いてきました。ただ、学習指導要領等の文科省から出てきている刊行物の表記が変わってきていることは事実としてあり、新学習指導要領はすべて漢字で表記されていることがあったので、来年度から小学校で全面実施する折に合わせて、変更した方がいいのではないかと判断しました。

過去のことまで調べてなくて恐縮ですが、全国的な流れに合わせるという意味で、記述を見直しました。中津川市としての方向性をもう一度吟味して、変更等考えていきたいと思っております。

■三尾委員 よろしくお願ひします。「こども園」など子どもの目に触れるところは、分かりやすくひらがなでいいと思います。指導要領では児童生徒という硬い言い方をしますが、せめて市内では統一しておいた方が、学校現場での混乱がないと思いました。

■教育長 ほかにご意見、ご質問ありますか。

小栗委員。

■小栗委員 私も昨年のものでどう変わっているのか見比べてきました。非常に分かりやすく、見やすくなったと思います。トップページと、その後の説明書きのつながりの部分も非常に見やすくなってありがたいと思います。今日は資料をカラーで出していただいて、カラー刷りで表に出るものはあまりないかもしれませんが、もっと見やすくするためには、重点の4項目を4色で分けると、視覚的に見やすくなると思います。大体色で判断してしまいますので、より見やすくなると思いました。

18ページの、今回から新しく入ってきた今日的な課題への対応の防災教育について、質問です。昨今の各地での災害や、当地でもいつ起こるか分からない災害に対して、準備をしておくという意味では非常に重要なことだと思います。ここにこういう形で方針として掲げて、具体的にどんなことをやっていくかが重要だと思います。今、方向性としてこんなことをやっていくという、何か具体的なものがあれ

ばお聞かせください。

■教育長 花田教育研修所長。

■教育研修所長 昨年10月の大川小学校の裁判で、事前の準備が安全を守れるものだったか、マニュアル等が本当に実行できるものだったか、ということに対して、ミスがあったという判決が下っています。

それぞれの学校ですでに防災マニュアル等を作っていますので、まずはそのマニュアルが、本当に子どもの命を守れるものなのか、再検討していく必要があると思って、すでに学校教育課を中心に具体的に動いています。

また、やはり子ども自身が、みずから命を守り抜く安全教育を、たとえば命を守る訓練などをもう一度見直して、子どもが自分で自分の命を守れる力をつけていくために、各学校で再検討していただくことを行なっていかなければならないと感じています。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 しっかりと教えていただくことがとても大切だと思います。その中で、やはり目指す姿にもあるように、ひとりだちできるように自分たちで判断できるといったところまでやっていただくとうれしいと思います。今回の件で「休校に当たって」の文章で書いていただいた、私がすごい好きなのは「あなたがこれまで生きてきた中で付けてきた力が試されています」という表現です。これは大人にも共通して言えると思って読みました。

そういったことも含めて、今まで自分たちが経験してきたこと、これから経験することを、何か災害があったときにどうやって活かせるかを教えていただきたいと思っています。

■教育長 そのほかご意見ありますか。

田島委員。

■田島委員 16ページの保育園・幼稚園・こども園のところに「園児が感じたり気づいたり試したり表現したりすることができる豊かな体験や環境構成、人、もの、ことを工夫する」という文言があります。この「工夫」というところがきっと、先生方にとって大切であり、我慢や見方を変えることにつながっていくと思います。未就学の子たちは、先生の一喜一憂、先生が落ち込んだり、戸惑ったり、嬉しかったりする気持ちで、本当に左右されてしまうものです。ここの文言を見ると、とても硬くて、何となく、ホアンとした優しさがないような気がします。保育士や幼稚園教諭は女性が多いので、心に余裕があるような、心が浮き立つような、励ませるような文言があるといいと思います。

もう一つ。2月に私のところに古い知り合いから電話がかかってきました。中学

生のお子さんを持つ親御さんで、大事な相談事があるからと会ったときに、いきなり15ページの白黒のコピーをしたものを見せられて、「これ中津川市の教育の方針と重点はですよ。よりよいひとりだち、生きぬく力を育むということですよ」と言われました。「よく勉強してくださいましたね」というようなことを言っていたのですが、実は自分の子どもが、これに反した対応を学校の先生から受けているということを伝えられました。子どもから親、その親から私に一方的に話してくださったので、偏ってはいると思います。詳しく聞いてみると、子どもにとってはかなり理不尽な対応のようで、17ページの下「児童生徒が自発的、自治的な活動を展開し、自分の良さや可能性を発揮してよりよい生活や人間関係を築くことができるように指導と評価を工夫改善する」というところと反対の対応だったようです。

それと、保育士さんから意見をいただきました。小学校の読み聞かせに、親からの依頼で人がいないので私が行きましたと。16ページの「園児一人一人の癖や発達、学びの連続性を踏まえて、入園から就学までの発達の見通しをもった指導に努める」とありますが、そのときにこれに関連して連携を取った小学校の先生から、なんであなたは来たのかという態度を取られたそうです。その保育士さんは、自分が面倒をみた園児の姿が見られるのを楽しみにしていたのですが、非常にショックを受けたと言っていました。学校と保育園が手を携えて頑張った成果を見ていってね、というような言葉がけを期待していったので、それは余計だったと思います。

2つの事例が私のところに飛び込んできて、これは氷山の一角ではないかと、ちょっと不安になりました。毎年、私が「本当に現場の方々に浸透していますか」と伺うと「しっかりと会議を行なっているから大丈夫です」という答えを頂戴しますが、やはり今回も不安です。

現場の先生には、毎年、色は変わりますが、こういうものが配布されるということは聞いてはいます。本当にこれを現場の先生方が隅々まで確認して、それで事に当たっておられるかというのが、2つの事例を知って不安になりました。

青年会議所やライオンズクラブなどその他の団体の方々は、会議の前に綱領を唱和します。それには、自分たちの今の立場と、どうやってこれから進んでいくかということが書いてあります。みんなで唱和するというのは幼稚なことかもしれませんが、そうすることで、自覚が新たに芽生えるものなのです。なかなか難しいかとは思いますが、この紙をひと月に1回なり、3カ月に1回なり、皆さんで確認し合ったりして、理解し合って進んでいくことはできないでしょうか。

■教育長 花田教育研修所長。

■教育研修所長 ご指摘のとおりで、私どもはこういったものを作成し配布するだ

けではなく、学校に浸透させていく努力をしていかなければならないと感じています。その一つの取り組みとして、今年度、私が所長に赴任した際に校長会から依頼をいただいたことがあります。中津川市に新しく来た校長が3分の1程度いるので、変更点等を中心にぜひ説明をしてほしいと依頼されました。今年度、初めての試みでしたので、私も赴任したばかりでうまく説明できない部分もあったのですが、20分程度時間をいただいて、説明する機会を取らせていただき、その折にもぜひ学校でも広めてくださいというお話をさせていただきました。来年度も、このような機会をぜひ持ってくださいとお願いして、時間も拡大して30分程度いただきたいと考えています。

また、校長会だけではなく、教頭会の折にもこういった時間をいただけるように依頼をして、各学校でも広めていただけるようにと考えています。その場で、研修などで使うプレゼン等も学校に配布して、学校でも同じような説明をしていただくことも、今後、考えていきたいと思っております。

■教育長 田島委員。

■田島委員 昨年と比べて今年のは非常に見やすいというお話が委員からも出ています。花田先生も非常に努力されて、これを作り上げてくださりました。これが絵に描いた餅にならないで、隅々まで皆さんに理解していただき、そして行動していただけるようにご配慮をお願いします。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 学校がこの「教育の方針と重点」をどう見るかということです。やはり学校はこれを消化しきらないといけないと思います。先程、教育を一枚の紙に図として示すのは大変難しいと言いましたが、小栗委員が防災教育のところを指摘されました。これを見ると、防災教育は今日的な課題への対応のところには上がっていますが、実は学校としては、安全・安心のところにも関わるし、特色ある教育活動の命の教育にも関わるし、もっと3次元的につながっています。そのことを花田先生が作ってくださったものから、読み取ることの楽しさを学校は味わわないといけないと思います。学校がこれをどう読み取って、みんなで「こことここがつながるな」と考えて、そういうことを消化しきることが、学校に必要なだと思います。この図は、それをやる上で非常に分かりやすいと思いました。

■教育長 田島委員。

■田島委員 三尾委員がおっしゃった楽しみということが非常に大事ですね。難しいこと、困難なことを読み解くことを楽しみに変える方向にもっていくことは、つらいこともみんなで楽しみに変えて明日に向かっていけるということです。リラックスし過ぎてしまっただけは、非常に難しいと思いますが、やはり人間はほめられたり

楽しかったりが、活力になりますので、そちらの方向へ進めていただけるといいと思います。

■教育長 林委員。

■林委員 去年、ラグビーW杯でワンチームということが言われていました。やはり4月から新しい学校に配属されて、そこでワンチームとしてどうやっていくかということで、これを何回も読んだり、話し合いの中でこれを携えていただきたいです。職員会議などのときに、自分たちのやるべきことの指針だということをよく理解し合いながら「もしかするとここがちょっと弱いね」「ここはできてるね」ということを確認し合いながら、1年間過ごして子どもたちを見ていただけるとありがたいと思いました。

■教育長 方針と重点について、目標として掲げるだけではなくて、この実践や肉付けがやはり大切だというご指摘を、それぞれの委員からいただきました。教育委員会も各学校への指導助言へも生かしていかなければなりませんし、学校も受け止めていただいて子どもたちに返していただけるような方針と重点にしていく努力をしたいと思います。よろしくをお願いします。

そのほかにご意見等ありますか。

ないようですので、続きまして、文化スポーツ部の方針と重点について、説明をお願いします。

大巾文化スポーツ部長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明について、ご質問、ご意見ありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 この文化スポーツ部の方針と重点にある、人づくりはまちづくり、どんなまちをつくろうという命題、理想を職員一人ひとりがしっかりと描いて、それを部内でも語り合えるような、熱い夢を語れるような気質、雰囲気をつくり上げていってください。一番素敵なまちづくりに携わっている部だと思いますので、よろしくをお願いします。

■教育長 大巾文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 田島委員が言われたように、私どもとしても、職員全体の会議の中でしっかりとこういったことを伝えております。また、職員だけではなくて、公民館などでは嘱託の職員もいますので、公民館長会議等でこういったことを知らせることによって、まちづくりは人づくりという中で事を進めたいと思っています。

■教育長 そのほかよろしいですか。

三尾委員。

■三尾委員 表記上のことです。教育の方針と重点の15ページと20ページとを比べたときに、一番上の年度のところですが、教育委員会は「令和2年度」、スポーツ部が「2020年度」となっているので、統一した方がいいかと思います。昨年の教育委員会の方は西暦になっています。

■教育長 統一しましょう。

表記の問題については、先程も指摘をいただきましたので、幼稚園の教育要領から来ている言葉なので変わらないかもしれませんが、一度検討をお願いします。

ほかにご意見等ありますか。

議第12号については、承認ということによろしいでしょうか。

議第12号「令和2年度中津川市教育委員会の方針と重点について」は、原案どおり承認とします。

本日の議事はすべて終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは、事務局から次回の開催日程についてお願いします。

川合事務局次長。

■事務局次長 次回は、令和2年3月26日、木曜日、13時30分からここで臨時会を開催したいと思います。

■教育長 それでは、次回は3月26日、木曜日、13時30分から臨時会を開催いたします。

以上で、令和2年第3回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れ様でした。

[閉 会 (午後3時9分)]